

沼田合同庁舎に彫刻作品

太田川学園50周年職員たち寄贈

今年、創立50周年を迎えた広島市安佐南区伴東3丁目の知的障害者施設太田川学園の職員たちでつくる記念事業実行委員会は、同日目で来年1月の使用開始を予定する市沼田

合同庁舎に地元の広島市立大の教授の彫刻作品を贈った。同大芸術学部の伊東敏光教授(59)が、流れる水などをモチーフに高さ2・85メートルの作品。

合同庁舎で伊東教授から彫刻作品について説明を聞く内田理事長



施設を運営する社会福祉法人三矢会関係者や利用者の保護者たちが

ら寄せられた記念事業の資金で購入した。合同庁舎は鉄筋4階

建てで、区役所沼田出張所や沼田公民館、沼田老人いこいの家が入る。作品は1階ロビーに設置された。同会の内田健二理事長(66)は「地域に育てていただいた恩返し。庁舎を訪れる人が作品に触れる機会にもなれば」と話す。

(神田真臣)